

まちづくり地区懇談会（木下区）会議録

地区名：木下区

日時：平成28年11月2日（水）19：00～20：15

会場：木下公民館

町参加者：町長・副町長・中村課長・松村課長・今井課長・鈴木係長・潮田地域支援スタッフ・河西

参加人数：40人（男性33人：女性7人）※町・主催者、報道機関を除く

報道機関：－

主な発言：※要約・箇条書きにて記録

【懇談】

参加者) 災害時の対応は区ではなく、自治体が主体となってやるものではないのか。防災訓練の開催のお知らせについても区長名ではなく町長名で出すべきである。

町長) 有事の際の指示権限は町長であるが、訓練や行事については区にお願いしている。

参加者) 人口減対策としては、子供を多くすることが大切であり、若いご夫婦が移住することが重要であると考えます。南箕輪はそういった政策によって成果を出してきている。税金は変わらないだろうが、私の娘のいる一宮市などでは子供の医療費が無料である。そのような取組は検討できないのか。

町長) 非常に重要であると考えている。財政状況を鑑みつつ、行政施策に反映すべきものについては反映していきたい。

南箕輪が成果を出している要因としては、箕輪に比べて土地が安いことや、伊那市に近いことが考えられる。また今まで作り上げてきたブランドイメージの成果でもある。また、税金は同じであり、保育料や水道料については若干異なっているので、改善できるものは改善したい。南箕輪も、近隣自治体から人口を吸収し、東京へ転出させている状況である。

参加者) 防災訓練等の連絡について、区に入っていない人への対応はどのように考えているのか。役場では転入の際に無理して加入しなくても良いと案内しているという話も聞くが……。また、区の活動参加への工夫は考えているか。

町長) まず役場では区に入らなくて良いという案内はしていない。区長のメッセージを添えて案内をしている。ただ、単に加入率を高めることだけを議論して良いのかというところもある。

参加者) 区に入らない人の比率が高くなってきたときに、連絡事項等をどのように取りまとめていくのか。

町長) 広報みのわの実を全戸配布に切り替えたのはそのような経緯からである。たしかに区に入った方が良いのだが、そこは個人の意思の範囲でもあるので、行政としては全体をカバーできるようにしていきたい。

参加者) 区で行事をやる時に集まる場所がないので整備していただきたい。

町長) 検討する。

参加者) もみじ湖をうまく活用できないかと考えている。たくさんの人に来ていただくために、道路の状況等アクセスをもっと良くすればいいのではないかと思う。また下の広場もうまく使えないかと思う。

町長) 私もそう思う。道路については県道であるため、県へお願いしている。公園についてももっと使い道があるといいなと思っている。常設で蕎麦屋さんでもあれば良いと思うのだが、なり手がいない。また町としても検討していく。

参加者) パチンコ屋の乱立について規制はできないか。「パチンコ屋のない町」としてPRにもなる。

町長) なかなか難しいかとは思いますが、そういった形で宣言をすることは町のPRの手段の一つかもしれない。

参加者) 箕輪町社会福祉協議会はどのような法令根拠でつくられているのか。民間の社会福祉法人と同じ位置づけであるのなら、紛らわしい名称にすべきではないし、赤い羽根募金や、災害マップの作成等の事業を、町社会福祉協議会だけに委託することはおかしいと思う。町でやるべきではないか。

町長) 委託事業については、すべて入札方式である。また、私はすべての仕事を町でやるというスタンスはとりません。

参加者) 岡谷市や南箕輪村からの転入もあるし、フェンシングの全国大会等、盛んに取り組まれているが、最近では壮年ソフトボールの方たちも熱心。全国大会を開催したり、合宿に来てくれれば、ながた荘を利用してくれたり、相乗効果が期待できるのでは、野球やフットサルなどもPR

できれば良いと思う。

町長) スポーツイベントを開催するのか、何かしら考えなければいけないと感じている。

参加者) 保育園の新設について5~6年前に町民プールの跡地にという話があったがその後流れている。建設予定等あるのかもしれないが、予定に寄らず前倒しの対応をお願いしたい。

町長) 沢が来月着工。平成30年4月完成を目標としている。その次は木下の番かなと思っている。新たな用地の確保を求めなければいけないが、なかなか難しい面もある。

参加者) 10年以上介護をしてきたが、町からもらえるチケットは使えるものが限られている。紙おむつくらいしか買えず、おむつ交換の際に必要な消毒や手袋等も使えるようにしてほしい。

町長) 検討する。

以上